

『専任の監理技術者の指導のもとにおける2年以上の実務経験証明書』の作成方法 [建築]

- ①実務経験記載欄は、受検申請書本体の実務経験証明書【B票】の作成方法に準じてください。
ただし、受検申請者本人による証明は不可です。
- ②主任技術者の資格要件は、「2級合格」または「実務経験（5年）」のどちらかに○印を付してください。

重要

- ③ここに記載できる実務経験は、
 - 元請けとして受注した工事におけるものに限られます。下請けとして受注した工事は含めることはできません。
 - 受検申請者と同じ企業に所属している専任の監理技術者から指導を受けたものに限られます。
 - 受検申請者が主任技術者の資格要件を満たした後のものが対象となります。（「2級建築施工管理技士」取得後または「高等学校及び専門学校専門課程の指定学科卒業後の実務経験5年」経験後）
- ④専任の監理技術者を配置しなければならない工事の請負金額は次のとおりです。

	平成28年5月31日以前	平成28年6月1日以降
建築一式工事	5,000万円以上	7,000万円以上
建築一式工事以外	2,500万円以上	3,500万円以上

- ③必要事項はすべて記入してください。記入漏れがあると実務経験の内容を確認できないため、受検資格を認定できません。また、申込後の加筆・訂正・再提出は一切受け付けておりません。書類を発送する前に必要事項がもれなく記載されていることを確認してください。

記入例

専任の監理技術者の指導のもとにおける2年以上の実務経験証明書 [建築]

下記の受検申請者の実務経験内容は、下記のとおりであることを証明します。
 国土交通大臣指定試験機関 (証明者)会社又は事業所名 ○○建設株式会社
 一般財団法人建設業振興基金理事長殿 所在地 ○○県○○市○○町1-2-3
 役職名 代表取締役社長
 氏名 山田 太郎

(証明日)令和 ○年 ○月 ○日

受検申請者	氏名	建設 一郎	生年月日	H28年 2月 10日	本籍	○○ 都・道府(県)	証明者との関係	社長と社員
主任技術者の資格要件	2級合格	<input checked="" type="radio"/>	取得年月日	H28年 3月 11日	資格名	2級建築施工管理技士	技術検定合格番号	1234567890
	実務経験(5年)	<input type="radio"/>	5年経過時点	年 月	← 実務経験のみの対象者は、高等学校及び専門学校専門課程の指定学科卒業者に限る。			

当てはまるものに○印を付してください

～訂正とお詫び～
 受検の手引12頁に、「証明者欄の押印と誓約欄の署名押印が必要」との説明を記載いたしましたが、このたびの制度改正により証明者欄の押印と誓約欄の署名押印が廃止となりました。ここに訂正させていただきますともにお詫び申し上げます。
 ※証明者欄(会社事業所名、所在地、役職名、氏名)の記入は必要です。

元請けとして行った工事を記入(下請け工事は不可)

建築一式工事の場合は、
 平成28年5月31日以前
 →5,000万円以上
 平成28年6月1日以降
 →7,000万円以上
 が対象工事です

実務経験証明書【B票】に記載された実務経験のうち専任の監理技術者の指導のもとにおける2年以上の実務経験の内容

勤務先	勤務先名	所属部署	実務経験の内容		発注者名	請負金額(千円)	専任の監理技術者		工事工期	実務経験年数
			工事種別	工事内容			氏名	資格者証交付番号		
○○建設	工事部	工事第1課	○○ビル新築工事	建築一式	△△開発	250,000	鈴木一郎	00123456789	H29.6-R元.6	2年1ヶ月
									~	
									~	
									~	
									~	
↓ 予定の実務経験記入欄(3月末までで必要年数を満たしている場合には記入不要)										
									~	
専任の監理技術者のもとの実務経験:合計										2年1ヶ月

専任の監理技術者の指導のもとにおける実務経験年数

受検申請者と同じ企業に所属する専任の監理技術者

【注意事項】 この証明事項に事実と相違がある場合は、合格及び受検実績が取り消される場合があります。実務経験証明書で虚偽の証明を行い、不正合格者を技術者としている場合、建設業法に基づき処分・告発の対象となります。

専任の監理技術者の指導のもとにおける2年以上の実務経験証明書 [建築]

下記の受検申請者の実務経験内容は、下記のとおりであることを証明します。

国土交通大臣指定試験機関

(証明者)会社又は事業所名 _____

一般財団法人建設業振興基金理事長殿

所在地 _____

役職名 _____

氏名 _____

(証明日)令和 ____年 ____月 ____日

受検申請者	氏名	生年月日	年	月	日	本籍	都・道 府・県	証明者との関係	
主任技術者の 資格要件	2級合格	<input type="radio"/>	取得年月日	年	月	日	資格名	2級建築施工管理技士	技術検定合格番号
	実務経験(5年)	<input type="radio"/>	5年経過時点	年	月	日	← 実務経験のみの対象者は、高等学校及び専門学校専門課程の指定学科卒業者に限る。		

実務経験証明書【B票】に記載された実務経験のうち専任の監理技術者の指導のもとにおける2年以上の実務経験の内容

勤務先		実務経験の内容			発注者名	請負金額 (千円)	専任の監理技術者		工事工期	実務経験 年数
勤務先名	所属部署	工事名	工事種別	工事内容			氏名	資格者証交付番号		
									~	
									~	
									~	
									~	
									~	
									~	
									~	
↓ 予定の実務経験記入欄(3月末までで必要年数を満たしている場合には記入不要)										
									~	
専任の監理技術者のもとの実務経験:合計										

【注意条項】

この証明事項に事実と相違がある場合は、合格及び受検実績が取り消される場合があります。
 実務経験証明書で虚偽の証明を行い、不正合格者を技術者としている場合、建設業法に基づき処分・告発の対象となり得ます。